

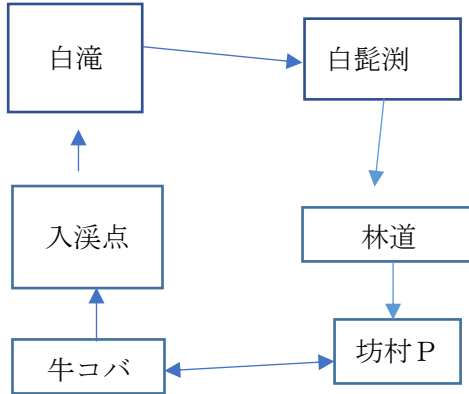
7月21日

白滝谷（比良山系）沢登り

小川 弘二

山名	白滝谷（比良山系）沢登り	山行名	7月例会
ルート	京田辺→坊村P→牛コバ→入渓点→白滝→白鬚淵→坊村P→京田辺		
山行日	2019年7月21日（日）	天候	曇り
参加者	リーダー：小川 サブリーダー： 男性：森本 女性：倉光・渡邊 参加者計 4名		

ルート概略図



コースタイム

地名	時：分	地名	時：分
京田辺	発 07:00	昼食	着 12:20
	着		発 12:40
坊村P	着 08:30	白滝	着 13:16
	発 08:56		発 13:30
牛コバ	着 9:40	坊村P	着 15:20
	発		発 15:40
入渓点	着 9:50	京田辺	着 17:10
	発 10:10		

梅雨の最中であり、雨が続けていたが天気予報を見ると曇りなので実施とした。京田辺を7:00に出発し、坊村の沢沿いの駐車場に到着したが、8:30。駐車スペースは満杯で何とか一番端に留めることができたが、沢登り愛好家が増えたのかな？次はもう少し早い時間に着くようにしなければと思う。

今日はMさん・Kさんが初めてという事でどこまで行けるか判らないが牛コバの少し上流の地点を入渓点とした。



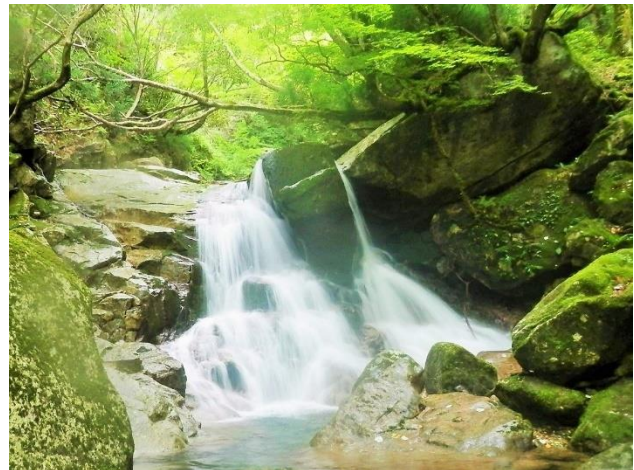
スイと登れるようになる。

約2時間程登って、大きな岩の上で昼食を取り、更に上を目指しました。白滝に着いたのが13時20分。前回は滝の左側を登攀したが、台風の影響で倒木があり、今回は登れません。右側から巻いて登るという方法もあるが、時間的にも遅く、今回は此処までとし、夫婦滝は次



前日まで雨が多く降った影響で水量も前回より多い。さぞかし水も冷たいだろうと思っていたが雨水が多いのか、それ程冷たく感じなかった。

今日のメンバーは余り泳ぐのが好きでないという方が多く、流れのキツイ小滝は巻いて通過。始めはおっかなびっくりで登っていたが、すぐ慣れてスイ



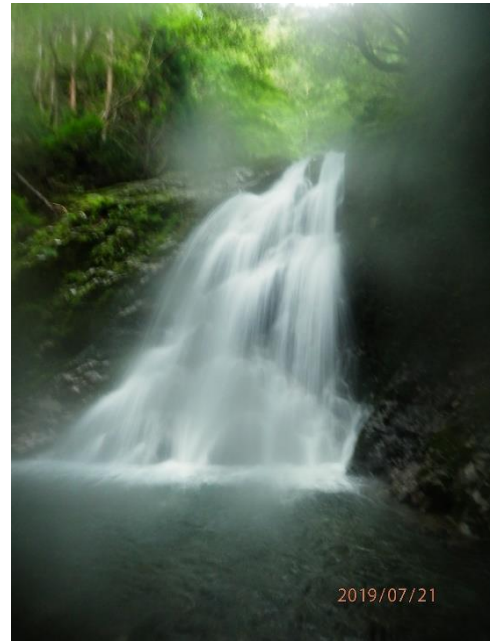
回のお楽しみとさせて頂きました。



今回、初めて参加された方も沢の楽しさを満足して頂けたかな???

ヒヤリハット： なし

下山は白鬚淵まで川を下り、そこから林道を1時間程度歩くと入渓点に着き、坊村の駐車場に着いたのが15時でしたが、林道の状態は悪く、落石等に関する注意が必要でした。



森本 竜二

小川さん運転の車で、倉光さん、渡邊さん、そして初沢登りの私（森本）の4名が新田辺駅前を定刻の午前7時に出発しました。Yケンに行く道を通られ国道367号線に出ました。この時期（海湖水浴シーズン）は、湖西道路は大渋滞だそうです。

滋賀県坊村の駐車場を9時に出発。牛コバの標識の少し先で、沢靴に履き替え沢スパッツを装着して9時55分入渓。梅雨の最中、予報は曇りで山行中止にならずに幸いでしたが、水は冷たそう。「晴れて暑くなったら、気持ちいいのに。」との声が出ましたが、水温は思ったよりも大丈夫でした。水流に負けないように、苔で滑らないように、最後尾を恐る恐ると、時には股下あたりまで浸かりましたが、ほぼ膝下の深さを登りました。急勾配を流れ落ちる水の天然シャワーを浴びながら、水が泡立ち水中が見えない場所でも、小川さんのアドバイスで足の置き場を確保できました。大きな滝は迂回して登りました。12時40分マイナスイオンを吸いながら昼食。再度沢を登って行き、7mはある大きな滝「白滝」に到着。最終目標は「夫婦滝」でしたが、帰宅時間と疲労度を考慮し、次回の楽しみとしました。

13時50分、靴を履き変え沢伝いの登山道を下山開始。川が増水していたので渡渉時に靴が浸かりました。途中で1辺40cm程度のサイコロ状の大きな石の落石が2度あり肝を冷やしましたが、15時20分無事に駐車場に着きました。楽しい体験でした。有難う御座いました。

今回は初心者のあるグループなので、危険を回避しつつスリルを味わえるルートを小川さんが選択してくれました。別の7,8人のグループと抜きつ抜かれつ登りましたが、彼らは私たちのグループより迂回することが多いようでした。入渓前にはかなりの重装備のグループも見かけました。白滝谷はベテランリーダーによるルート選択で初心者から上級者まで楽しめます。マイナスイオン一杯ですよ。

（左渡邊さん、右小川さん写真提供）

